

広報

のあさひ

No.311

'82

10/15



カボチャに負けない

秋空のもとカボチャ運動会

去る9月19日、恒例の宮宿小カボチャ運動会が、父兄も参加して盛大に行われました。

戦後の物資不足の時代にカボチャ、サツマイモなどを各家庭から出してもらい賞品にしたことから、カボチャ運動会となり、今でも続いているということです。

● 今月の内容 ●

みんなで守ろう朝日分校……………2

● 9月定例町議会から……………6

● カメラルボ

ふる里のワイン片手に秋の一日……………10

● みんなの教育

子どもの教育についての親の考えと願い……………12

● 町民のひろば・情報室……………14

守る朝日分校

整備拡充に全力を

県の高校朝日分校統廃合計画に対し、これまで町や独立を進める期成同盟会では反対運動を展開してきました。県では「地元の合意なくして統合しない」と言っていますが、これで問題が解決したとはいえません。さらに、朝日分校々舎の老朽化に伴う改築問題など新たな課題も山積しています。

そこで、地域における高校教育の灯を燃やし続けていくために、私たちは具体的にどう対処すべきなのか話し合っていたきました。

地域を無視した 統廃合計画

●司会 高校朝日分校問題については独立をすすめる期成同盟会や議会の特別委員会が中心になりこれまでさまざまな運動を進めてきました。

今日はこれまでの運動を踏まえながら、今後どのような手だてが必要なのか、町民としてどのように対応すればよいのか、といったことなど、皆さんが日ごろ考えておられる率直なご意見をお聞かせください。

●A 先ず最初に分校の独立をすすめる期成同盟会のこれまでの運動に対し、父兄として感謝申し上げたい

と思います。

これまでの反省として私たち父兄は皆さん方に任せっきりで、自分たちの問題として高校の将来を考えていこうといった運動に対し、取り組みが足りなかったと思っています。

期成同盟会や議会特別委員会のこれからの運動に親の立場からどう対応し、一緒に運動に携われるか、子どもの教育という面から考え直して見る必要があります。

実際問題として朝日町から高校がなくなれば商店が困るとか、いろいろな面から大きな影響がある、ということは誰でも口では言います。しかし自分の子どもの立場になると話は別、それでは口先だけで、町の将来を論ずる資格がないですね。

他人に言う前に自分の問題として反省すべきではないでしょうか。

●B 確かにこれまでPTAや親同志の話し合いの場がなかった点は反省すべきだと思います。

私は子どもが二人います。朝日分校に入れて本当によかったと思っています。

自分で努力して外語学校に入り親に負担をかけず、立派にやっております。親としても誇りに思っています。

このようなすばらしい高校になぜ入学させようしないのか、不思議でなりません。

●C 朝日町として高校や病院などは人間でいえば両足のようなものだと思います。この片方の足を県では切ろうとしている。地域を全く無視した考え方です。

県教委の考えているような適正規模の学校とか、生徒のおおぜいいる学校など、朝日町では望めません。小さい学校でもそれなりの良さがあるんで、小規模校としての価値をつくるべきではないでしょうか。

それが県の役目であり、町民として望むことです。

●B 部活動をやるにはある程度生徒の数がいないとできないので小さい学校ではだめだ、という学校側の言い分は理解できます。



多田 秀雄さん



渡辺 金二さん



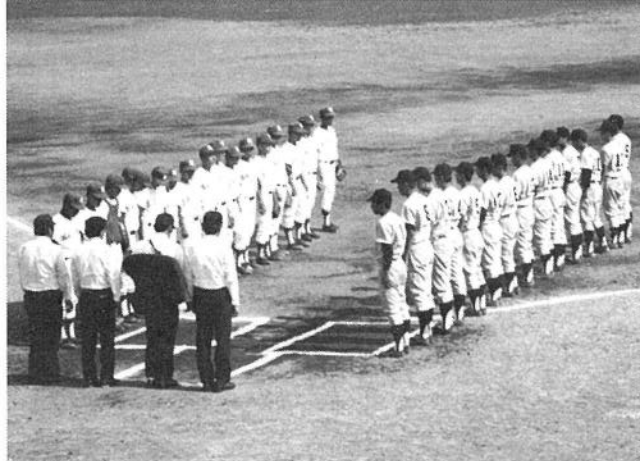
長岡 健治さん



浅井 重弥さん



佐藤 巖さん



広報座談会

みんなて

今こそ

だからといって統廃合し
なければならぬ、という
理由は成り立たないと思う
し、むしろ大規模校の弊害
のほうが多いのではないで
しょうか。

●D 町民も高校問題につ
いては無関心な人が多いよ
うな気がします。

自分の子どもの立場にな
れば真剣にならざるを得な
いでしょうが、地元で高校
があるというだけで親とし
て安心できます。それに地
元の学校へ入ることで逆に
他町の学校へ入った人には
負けられない、といったフ
ァイトが湧いてくるんでは
ないでしょうか。

この町から高校がなくな
れば町づくりの上で計り知
れない影響を及ぼすと思
うし、町が受ける損失も相
当なものでしょう。こうした
実態を町民に明示して理解
を得ることがたいせつです
ね。行政はもちろんです
が町議会としても町の存亡に
かかわる問題として、真剣
に考えてほしいと思います
また親としても、山形の高
校等へ入れば自分の看板

が上ったとも思うのでし
ょう。そういった考えが非
常に強いと思います。

事なかれ主義では 解決しない

●C これまでの朝日分校
を見るとクラブ活動に一生
懸命になってくれる先生が
少なかったように思われま
す。美術クラブのように優
れた指導者に恵まれれば、
この学校もすばらしい力を
発揮できるんで、クラブ活
動にもっと力を入れてほし
いですね。

●A 期成同盟会や町民が
こんな一生懸命になって
朝日分校を独立高校にしよ
うとがんばっているのに、
行政や町議会があまり動
かなかったように思えてな
らないのです。

●D ほんとうに朝日町を
愛する郷土愛というものが
あるならば、議員などは率
先して手本を示してほしい

●A 自治体の教育委員会
制度については問題点もあ
ると思いますが、事なかれ
主義のように感じます。地
域の教育施設を守り充実さ
せることは基本的な目標の
はずです。高校は関係ない、
とは言えないでしょう。も
っと強い意志を持って国や
県にものを言える委員会

です。

口先で心配しているよう
なことを言っても、いざ具
体的な問題となると、全然
前進しないようではなんに
もならないでしょう。

●C 教育委員会としてこ
れまで同盟会の運動に対し
ほとんどバックアップして
くれる動きはありませんで
した。県高校整備計画を出
した時点（昭和五十一年）
から適切な措置を取ってい
たら、これまで相当の効果
が現れたんじゃないかと思
いますが……。

●A 自治体の教育委員会
制度については問題点もあ
ると思いますが、事なかれ
主義のように感じます。地
域の教育施設を守り充実さ
せることは基本的な目標の
はずです。高校は関係ない、
とは言えないでしょう。も
っと強い意志を持って国や
県にものを言える委員会

●A 自治体の教育委員会
制度については問題点もあ
ると思いますが、事なかれ
主義のように感じます。地
域の教育施設を守り充実さ
せることは基本的な目標の
はずです。高校は関係ない、
とは言えないでしょう。も
っと強い意志を持って国や
県にものを言える委員会

出席者

*佐藤 巖さん(宿)

*浅井 重弥さん(本町)

*長岡 健治さん(常盤)

*渡辺 金二さん(本町)

●司会 町広報委員長

多田 秀雄

あつてほしいと思います。

地域と一体化した 指導方針を

●司会 次に高校進学に対
する中学校の指導や県教育
委員会の考え方についてご
意見を伺います。県教委で
は表面上、地元の合意を得
ないうちは統廃合はしないと
公言しているわけですが、
が、中学校の進学指導の影
響なども朝日分校への
入学者が年々減少し、この
ままでは存続さえ危ぶまれ
るのではないかという意見
を耳にします。その点につ
いてはどうでしょうか。

●A 中学校の先生からす
れば、心情として少しでも

良い学校といわれる高校に入りたいと思うのは確かでしょうね。しかし、良い学校とは生徒数が多いとか進学率が高いとかが基準ではないと思うんです。

要するに本人の心がけややる気がたいせつなので、それを指導するのが教師の務めであり、町教育委員会としての指導性が問われるところではないでしょうか

ところが逆に左沢の本校への入学を勧める中学校の先生がいるということは問題ですね。

●D 中学校の先生の中に



「朝日分校なんか」といったように高校として最低の位置づけとしての見方をすると、分校は近いうちに廃校になるんだ、などと言っている先生が事実いるということです。

●A 一人の生徒が本校へ希望すると他の生徒への影響が大きいですね。その点で先生の指導に大きく左右されます。

●C 朝日分校の先生も考え方は県教委のほうだけしか向いていないように感じられます。地元で分校の野球部をみんなで後援しようと、カンパ運動を行い寄附してもそれを拒否するなど、地域とのつながりを持たないようにしているのがありありと見えます。

それでほんとうの人間教育ができるのだろうか疑問ですね。

●A 現実問題として生徒がいる限り先生がたにも最大限努力してほしいですね。結果的に迷惑を受けるのは生徒であるということを考えていただきたい。

●C 以前聞いた朝日町出

身のある中学校の先生の話ですが、その先生は、自分の首をかけても朝日分校への入学者を増やしてやるんだ、と言っているが、それだけだそうなんです。事実その年は一〇名ほど入学者が多かったということなんです。そのように先生の指導いかんによって相当違ってきますね

プライド持つ 朝日分校生

●司会 先ほどCさんから

もお話がありましたが、高校の先生がたの地域に対する取り組みかたについて非常に疑問を感じることがあるんです。ということは、朝日ロータリークラブの一

〇周年記念事業として、フイリピンから留学生を呼んで朝日分校へ交換留学を申込んだのですが、英語教師がいらないという理由で断られました。しかし本校でならば受け入れますという回答があったそうです。

なんとなくすっきりしない回答だと思んですが、どう感じられますか。

●A 断った理由は単なる言い訳にしかならないと思います。生徒に英語を教えないながら英語教師がいらないとは理解に苦しみま

す。それとも、生徒には外人に対して通用しない英語を教えているのでしょうか。

●司会 県教委と学校と組んで、分校を廃校に追い込もうとしているとした考えようがありませんね。

では、生徒側から見た朝日分校に対する意見はどうでしょうか。

●B 朝日分校はなぜ、どこが悪いのですかと生徒自身が言っているんです。それだけ生徒は自分たちの学校を誇りに思っているんですね。

●A 私の場合は下の子どもを分校へ入れる時苦労しました。寒河江に入れてもえられないなら、せめて左沢の本校に入りたい気持ちがあったようです。

しかし兄から「本校へ行くなら分校のほうがはるかに良い」と説得され分校に入ったんです。

も感じたようで、今では本校へ入らないでよかったと喜んでいきます。それに本校との統合問題については絶対本校と一緒にいるのはいやだ、と言っているし、分校としてプライドを持っているみたいです。

●B 生徒の非行問題などでも分校へ入っていればそのような心配はなかったと思われる生徒もいますね。

それから山形のある私立高校へ入れている父兄の話ですが、経済的に相当負担でとても大変です、といって嘆いていました。

●D 朝日町からもし高校がなくなつた場合、特に西部地区は経済的な問題で高校へはやれない家庭も出てくるかもしれません。

親の負担増はもちろん交通の便などを考えれば部活動もできなくなるでしょう

●C 山形の高校へ入れた場合、下宿しなければならず、月に七〜八万円は最低必要です。そのような負担に一般的家庭では耐えられません。

●A 苦勞して山形の学校

へ入れても立派な人間になれば親としても報われますが、親の目が届かないと非行に走りやすいし、そんなことでは親としてやりきれないと思いますね。

小規模でも 特色ある高校を

●司会 中学生全体として年々生徒数が減少しているのは避けられない事実です。したがって一学級の定数などもそれぞれの地域に合ったように、たとえば三十人でも認めるなど、柔軟性のある施策が必要だと思います。また、普通高校だけでなく、もっとユニークなアイデアでもけっこうです。このようにすれば生徒が増えるではないか、といったご意見を伺いたいと思います。

●B 町長さんはよく、知恵のある者は知恵を、力のある者は力、金のある人は金を出し合い、みんなが町づくりをしなければならぬ、と言っています。私はそれに加え、何もの

い人は真心を出してくださいたいと言いたいですね。

町を守るため、みんなが町づくりをするためには金や力だけではどうにもならない場合があります。

そのようなときは、みんな真心を出し合い、真剣に考えれば解決できるのではないのでしょうか。

●C 町民スキー場もできたことだし、スキーの教師を町で招へいし、高校生への指導を行うなど、なんでもよいと思うが、体育科を設置することなども一つの方法ではないですか。

●D 町立高校を設置する気になれば、特別科を設けるぐらいは可能だと思うんです。たとえば国際社会に対応するため英会話専門科などはどうでしょうか。

●A 部活動で優れた先生がいれば、それが核となり入学する生徒も増えてくる。

ぜひ町でスポーツの指導員でも招へいしてほしいですね。その時は学校も町もOBやPTAでもこぞって生徒募集すべきです。

優秀な人材育成の殿堂として

●司会 最後にこれまでの反省に立った上で、それぞれの立場で今後どのように運動に参加し、どのように独立運動を盛り上げていけばよいのか、といった点についてお聞かせください。

●A これらの運動は行政や、議会が行うべきものですが町民としてそれにどう同調していくかが問題だと思います。

親の立場から考えれば将来の朝日町に対し、期待感が持てるかどうかによって子どもの進学に対する考え方も大きく左右されると思われると思います。その意味で、これからの町づくりをどうするかということが重大な課題ではないでしょうか。

●B 町民一丸となり、朝日分校問題に一生懸命になっているわけですが、町内の職場に就職する場合、分校卒業生を優先して採用するなどの姿勢を示してほしいですね。せっかく町内に

定住させようと思って朝日分校に入れても職場がなければどうにもならないわけです。

●D ほんとうにこの町を愛する気持があるかどうかによって考え方は定まるものと思うし、将来どこかに移転する考えの人は、真剣に町の将来など考えないでしょう。

●C ソフトボールやレクリエーションのように、町民こぞって燃える力を分校問題にも出してほしいですね。行政や議会も町民を一つの方向へ行動を起こすよう誘導するのが役目だと思います。

●司会 これまでの運動の反省の中でも出ましたが、存続・独立運動で集めた力や意見を、正面から受け止めるフットロントがないというか、ぬかにクギを打つように手ごたえがなかった、という意見がありました。これが昭和三十一年に

任命制教育委員会制に移行して以来、財政自主権が知事や町村長部局に移り、教育委員会の文教行政責任体としての能力が低下し、両者に責任が分散した。そのために国の文部行政に忠実な政治力のない県ほど、県立高校の統廃合が盛んに進められる結果になったと思うんです。

しかし、福島県の小高町（人口一四、六〇〇人）の場合、県立の普通高校と工業高校が二つあり、近年普通高校のほうが生徒減となったため、新たに商業専門高校として、そのまま存続させている例もあります。

新幹線も高速自動車道もない過疎地域だけを多く抱えている山形県が、これから百年後、目指すべきは優秀な人材の育成以外にないと思います。県の行政力に今後期待するところ大であると思います。

今日は長時間、貴重なご意見ありがとうございました。今後も高校朝日分校発展のためご努力くださるようお願いいたします。

●9月定例町議会から

九月定例町議会は十七日から六日間の日程で開かれ、五十六年度一般会計決算など二十三案件を審議、原案通り可決して閉会しました。

今月は、議会のもようや決算の内容についてご紹介します。

町長の町政報告

(要旨)

*財政状況について

国も地方もきびしい財政状況の中にあつて、景気浮揚策により公共事業の上期契約率を七五割以上を目標に推進しているところです。当初計画しました各種事業の完全消化を目指し努力していますが、国の公共事業の抑制策によって、農業費を中心に事業費の減額を余儀なくされています。今後とも、重要かつ緊急性の高い事業については、最大限の計上をして、住民のかたがたの要望に対応する所存です。

*事業の進捗状況

●税務課関係

先般リンゴ生産農家代表のかたがたに集まっていたが、課税のあり方などについて協議願いました。

その結果、正確な樹園地面積の把握を行うため、一筆ごとの聞き取り調査を行いました。現在整理中ですが、植栽年次なども明確になり、今後適確な課税ができるものと期待しています

●企画課関係

YTSのテレビ中継塔がこのほど完成し、八月初めから開局されています。

「はがきで選ぶ東北観光地60景」で朝日連峰が第50位に選ばれ山岳の部では第五位に当たります。町内三郵便局、観光協会その他多くのかたがたのご協力の賜と感謝しているところです。

●住民課関係
防火水そう十五基について、入札をした結果それぞれ二〇五万円で町内五業者に発注しています。県防災行政無線が去る六月二十八日に開局し、災害発生など緊急時の通信以外は、一般事務に活用されています。

●建設課関係

町道滝の沢線道路改良工事、昭和橋舗装工事、町道元宿西線舗装工事を発注、順調に進んでいます。また、北田川、大暮川の護岸復旧、町道前田沢下芦沢線、町道白倉線の復旧工事をそれぞれ実施しています。

●産業課関係

農村総合整備モデル事業では、継続事業として舗装工事を実施してきた上郷、真中、長沼、八ッ沼能中線は完了しています。さらに、宮宿南線(新宿)、大沼勝生線、今平線、大暮山松保線の工事を進めています。

可決された案件

- 昭和56年度一般会計決算の認定について
- 高齢者センター会計
- 白倉スキー場会計
- 国民健康保険会計
- 病院事業会計
- 水道事業会計
- 昭和57年度一般会計補正予算(第二号)
- 白倉スキー場会計
- 病院事業会計(第一号)
- 水道事業会計
- 朝日町営農林事業の経費の賦課徴収に関する条例の設定について
- 朝日町医療給付条例の一部改正について
- 昭和57年度能中地区団体営農地造成工事請負契約の締結について
- 三中区団体営農地造成工事請負契約の変更(公営住宅線)
- 町道路線の認定について
- 町道路線の変更について(元宿西線)
- (西町草林線)
- (栗木沢真中線)
- 教育委員会委員の任命(任期満了に伴い和合37番地大竹潤次郎氏が再任)
- 町立病院改築問題調査研究協議会設置条例の設定
- 町特別職の給与に関する条例の一部改正について
- 町奨学資金貸付基金条例の一部改正
- 町議会々議規則の一部改正について
- 靖国神社公式参拝に対する意見書の提出について
- 市町村社会福祉協議会の法制化ならびに拡充強化についての意見書の提出について
- 請願・陳情
- 靖国神社公式参拝に関する請願書採択
- 市町村社会福祉協議会の法制ならびに拡充強化について意見書提出の請願書採択
- 有害鳥獣特別狩猟に関する補助金交付の陳情書採択

34億円の使いみち

一般会計

昭和56年度決算のあらまし

約九千万円の

繰り越し

はじめに、五十六年度の決算から町の台所の状況をみてみたいと思います。

一般会計では、歳入総額三四億五、〇八二万三、八〇五円、歳出総額三三億六一二六万二、六一一円で、差引八、九五六万一、一九四円の繰り越しとなりました。

これは前年度に比べ、歳入で九、一六〇万円（二・六割）、歳出では八、一一五万円（二・四割）の減となつています。

財政運営を判断する基準ともいえる実質収支は約九千万円と、厳しい財政状況の中で、前年度に引き続き「健全財政」に努めた結果のあらわれといえます。

歳入の中心は

地方交付税

歳入の内訳としてもっとも多いのは地方交付税で、二億九、七八三万円と全

体の三七・六割を占めています。ついで県支出金が五億四三〇万円（四・六割）町債四億八、一六〇万円（一・四割）国庫支出金三億九、二一五万円（一一・四割）町税三億六、三五九万円（一〇・五割）の順となっています。

なかでも地方交付税の歳入全体に対する構成比では、前年度の三三・九割より三・七割の増となり歳入の中心となっています。

投資的経費に

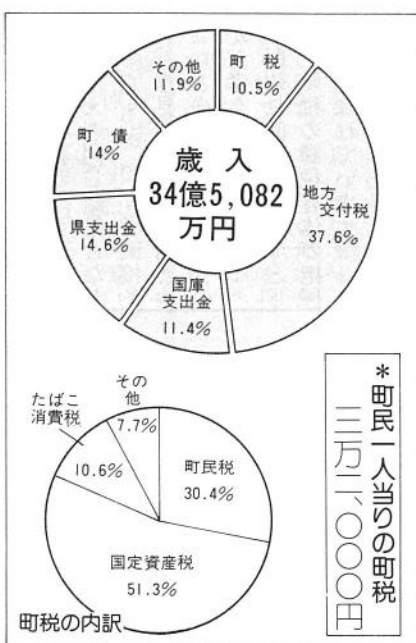
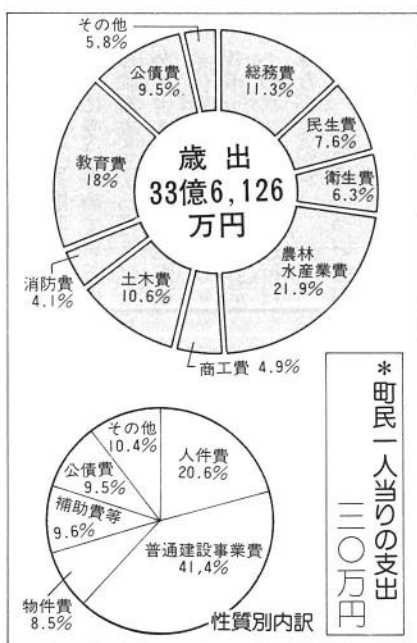
十五億円

つぎに歳出のおもな内容ですが、性質別では補助事業や町単事業などに使われた普通建設事業費が一三億九、四六八万円と全体の四一・四割を占めています。

ついで人件費が六億九、五六三万円（二〇・六割）、補助費三億二、四一六万円（九・六割）、公債費三億二、〇三四万円（九・五割）、物件費二億八、五一万円（八・五割）の順となっています。

歳出全体の投資的経費は一五億二、八九〇万円（四五・三割）、人件費、物件費などの消費的経費は一四億四、五四九万円（四二・七割）となっています。財政構造の健全度を示す基準ともいえる経常収支比率は

八九・八割と年々高まる傾向にあり、今後、歳入の確保、義務的経費の抑制などに努める必要があります。また目的別内訳では、上郷小改築をはじめ、新農構事業、農村総合整備モデル事業などがあげられます。



一般質問

質問と答弁の

あらまし

行革と今後の

町政について

■近衛正雄議員 臨調答申に基づく行革に関連して、今後の町政執行をどう考えているか。

今年のヒョウ害、台風による災害に対しどのような具体策で対応するのか伺いたい。

■町長 行革と財政再建は全く異質なものと理解し、行革を先行させ財政再建をはかるべきと考えます。

肥大化した行政事務の簡素化を図るため、国から大幅な権限と財源を自治体に付与されるよう、各自自治体ともども政府に働きかけていきたいと考えます。

今年の災害は局地的なもので、激甚災害の指定は受けられなかったのですが、

農協、共済組合との連携のもと救済対策に取り組んでいます。町単独として、被害農家の経営安定と再生産意欲の拡大を図るため、経営安定資金を設定する方針です。

舗装道路の

管理保全策は

■鈴木功議員 町道舗装の破損箇所の管理保全体制と国県道の管理者への通報体制はどうなっているか。

■町長 車交通の激増に伴い道路損傷に著しいものがあります。現在町道舗装の損傷が激しい箇所は、昭和四十年代に舗装した道路で、耐用年数に達しています。

こうした道路はそのつど再生舗装をしています。その経費は年間五百万円程度の投資となっています。

国県道の管理については路線の地区ごとに道路モニターを配置して通報体制をとっています。そのほか、町担当課で随時パトロールを実施して対処しています。

老朽校舎の整備計画について

■若月清五郎議員 将来の人づくりは教育にある。町の第一次計画は終わろうとしているが、今後未整備老朽校舎の整備計画をどのように考えているか。

■町長 当局としても大きな課題として受けとめています。行財政改革がらみのなかですが、基本計画の見直しをすべく考えています。議会をはじめ町民各層のかたがたとの議論のなかで、昭和五十九年三月までには策定したいと考えています。

■教育長 現在十校の未整備校舎があります。この整備計画は具体化していませんが、今後の児童数の推移、道路網の整備など勘案しながら、学区民と充分話し合いのうえ、委員会内部で検討していく考えです。

財政見直しと

町民意識調査を

■堀敏男議員 苦しい財政事情のなかで実際町民はどのように受けとめているのか意識調査をする考えはないか。さらに、財政見直しの具体策について伺いたい

スポーツ少年団の対外活動へのスクールバス運行はできないものか。

■町長 ご趣旨について理解いたしますが、アンケート方式の意識調査の結果、効果については疑念を持っています。概して調査する側の考えと同じ結果となりがちなものですね。直接的に、意見発表会、公開討論会などの方法はどんなものかと考えます。

財政見直しのひとつとして、町税の課税客体の把握に力を入れています。

■教育長 現在町内スポーツ少年団体の登録数は九団体あります。スクールバスの年間運行状況は、授業日数二五〇日間、クラブ活動で二〇日間合計二七〇日間となっています。こうしたなかで、小学校の体育大会などに対しての運行もできない状況です。

スポーツ少年団体だけでなく、ほかの社会教育団体の事業とも関連してきますので、至難なものと判断しているところです。

スクールバス

運行について

■安藤貢議員 現在運行しているスクールバスの乗車区分(大滝地区)を再検討する考えはないか。

■教育長 スクールバス運行はご承知のとおり、昭和五十二年中学校統合時点での基本としての約束です。その後、大滝地区やほか二、三部落からご不満を聞いていますが、この基本をくずせば収拾のつかなくなる恐れがあります。

自転車通学生、女子学生などの通学における危険度の問題については、そのつど校長、父兄との話し合いで対処していきたいと考えています。今すぐ乗車区分を変えろという考えはありません。

保育料算定に

「朝日町方式」を

■堀重雄議員 保育料の父

母負担について給与所得者から根強い不満がある。

父母負担の公平を期するため奮勇をふるって「朝日町方式」なるものを検討する考えはないか。

■町長 保育所を開設しているこの自治体でも苦慮しています。

所得税の申告は、町民の



ワイン塾

⑦ワインの飲み方楽しみ方

■ワインの飲み方

ワインの飲み方は、一般に色、香り、味の三点を味わいながら飲みます。チューリップ型のワイングラスに半分ほど注ぎ、はじめに色あいをみます。次にグラスを少しまわし香りを立たせ香りかぎ、最後に口に入れて味をみます。

ワインには、先に述べたとおり、赤、白、ロゼがあり、これらのワインの特有の色、香り、味を十分に楽しむことが良い飲み方です。そして、ワインをよりおいしく飲むためには、ワインの飲用温度がたいせつです。一般に白ワイン、ロゼワインは7～10℃に、赤ワインは室温か15～18℃に冷やして飲みます。ワインは、ゆったりとした落ち着いた気分で飲みたいものです。

■ワインの楽しみ方

ワインの楽しみ方は、たいへん幅広くいろんな楽しみ方があります。そのひとつとしてワインは原料ぶどうの品種によって、また年によって、そして産地によって色、香り、味がすべてちがってきます。このことから、ワインを飲んだ時このワインはどんなぶどうからできたのか、どこのワインだろうかとか、考えながら学んでいくのもひとつの楽しみ方でしょう。とにかく、いろんなワインを飲んでみるのがたいせつなのです。

*ワインの飲用温度



白・ロゼワイン
7～10℃
赤ワイン
15～18℃

*ワインの飲み方



正義感に基づいてなされるものです。保育料の算定基礎は、住民税の申告所得と固定資産税をもとにしていますので、課税客体の把握についても現在調査中です。

感情的に不均衡があるということも聞いています。しかし、はっきり申し上げて、現在の制度下では手の打ちようがなく、手づまりという状態です。厚生省の基本姿勢の見直しというこ

とで極力要望していく方法しかないのではないかと考えています。

農林産業の

対策について

■長岡健一議員 農地造成

事業、ほ場整備事業等はよくなされているが所得向上までに結びついていない。また林業にあっては不況に悩んでいる現状である。町としての対策を伺いたい。

高齢者生きがい対策として、高齢者センターにゲートボール専用施設をつくる考えはないか。

■町長 日本農業の将来に対し、これが最高という施策は見当たらない。しかし、農業の生産基盤の整備ということは絶対間違いない施策と思っています。

これまでもこうした考えのもとで、町民の理解を得ながら実施してきたわけですが、今後も、山間耕地の

流動化促進を図っていききたいと思っています。

林業の振興という点で、

ご指摘のとおり苦しい現況ですが、専門的立場にある森林組合との連携のもと、町としても治山治水のため、適切な指導をしていきたいと思っています。

高齢者センター整備についてはいろいろ考えていますが、ゲートボール専用施設をつくるということは考えていません。



*写真説明

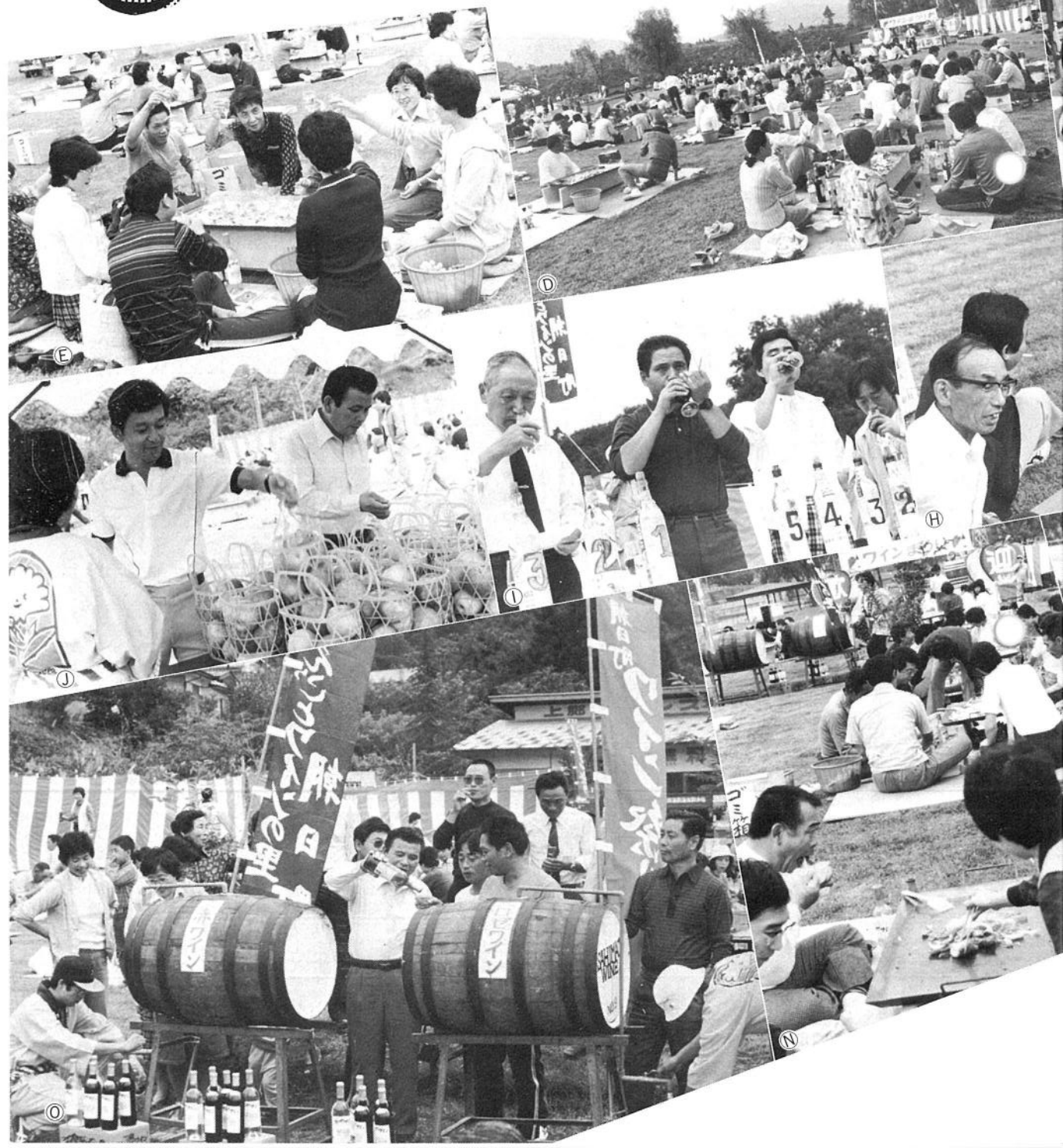
①開幕前の緊張した一瞬②受付には参加者の長い列③牛肉と冷たいワインが渡される④ダム公園は満席⑤乾杯！⑥祭りの成功に小林町長の顔もほころぶ⑦抽選会も行われた⑧ふる里ワインに気分は上々⑨利きワインの一コマ⑩リンゴ即売コーナー⑪将来は歌手か⑫湖畔に美声が響き渡る⑬ブラジルから福岡ふじみさんが訪れた⑭朝日牛のうまさに舌鼓⑮2001ハットルの大だる2本もペロリ

秋もたけなわになった九月十九日、上郷ダム湖畔で第二回ワインまつりが開かれました。町と農協、ワイン工場が主催して開いたこのまつりには、町民を始め遠くは宮城県や秋田県など県外からの客を含め約四百人が参加。

朝日町ワインと町産黒牛のバーベキュー飲み放題、食べ放題という趣向に、参加者たちは満足気。利きワインやカラオケ大会なども行われ、深まりゆく秋の一日を心ゆくまで満喫していました。

町内外から四百人集う

るるのフイ片手に秋の





子どもの教育についての 親の考えと願い

小学校の教育懇談会から

地区と学校との懇談会が町内の各学区で行われました。その中から三点をひろって報告します。

親たちが自分の子どもを育てることにどんな反省をもち、どんな願いをかけているのか、みんなを考えてみましょう。

**校則がきびしすぎて子どもの
自由な世界をせばめているのではないか**

「○○○するといけないから△△△してはならない」という形の禁止事項が多すぎて、子どもたちががんじがらめにされているのではないか、という学校への問いかけです。そこで話題になったのは、禁止することによりかかるのは教育ではあるまいということなのです。「危険だから川に行っちゃいけない」という禁止事項を作ったとすると、子どもたちはいつ危険への対応を学ぶのか、危険さを経験してこそそれをさけたり乗り越えたりする知恵を

学ぶのではないのか。いつも子どもを安全圏においておいたのでは子どもは危険をさける知恵を学ぶことはできないという考え方は、

ところが反対に、そういう禁止事項があったほうが安心だという考えのかたも多いのです。

「危険な道路だから、ここでは自転車は乗るな」と地区民の声からそう決定した学区もあったそうです。それが懇談会で話題になって、それでは教育的でないという結論になり、学校、

警察、PTA、安全協、子ども育成会、地区の人が何回も話し合いを重ねました。それで、きめ細かな計画をねり、教育的配慮を十分した上で禁止を解除した事例もあります。

事故が起これば責任の所在とか指導のあり方などい

今の子には苦しさに耐える

きびしさが足りないのではないか

いろんな地区でこんな声がかれました。

「現在の先生がたの教育のしかたはあまいのではないか」

「学校でも多少手をあげてもらってもかまわないから忍耐・ねばり強さを養ってほしい」

「先生が子どもの友だちのような立場になっているのではないか」

学校の先生に対する要望の中にすこし不満も見えています。しかし一方ではきびしい反省の声もあります。「父親もきびしくなければならぬ」

「学校できびしくしてもらっても家庭であまいのでは

ろいろ問題がでてきて、その予防面としての禁止というところもあるわけですが、もういちど子どもの側から見てどうなのか、今まで大人の側からばかり問題を見てきていないのかというきびしい反省として受けとめる必要があります。

なんにもならない」

「自分の子なのだから、まず親がやらなければだめだ」

苦しさに耐えるきびしさはここでは一つの精神的態度と考えていいと思うのですが、求めれば与えられる状況ではそれはそだたない



▲親子むかで競走の一コマ



▲おかあさん ガンバレ!

ものでしょう。

親の大部分の人が「たくましい子」に育ってほしいという思いをもっていろいろありますが、「たくましい」の中には困難を乗り越えて

いきいきしさをみんな考えています。家庭では、学校では、地域では子どもにどう向かわなければならぬのか、ここにも大きな問いがあります。

子どもに金の使い方を

工夫させる必要はないか

これはこづかいの話し合いから発展していった問題ですが、家庭ではこづかいの額をきめている場合、その場その場という場合との二種類でした。その中で、だちんとしてこづかいをやるという家庭もすこしあったようです。こづかいの額が決めている場合も日給制週給制、月給制の三つがありました。その家庭の考え方でやっているようです。

金を与えっぱなしでいいのか。何か親として使い方の指導は必要がないのか。お金はときとして子どもを非行に走らせる魔力も持っているものですから、正しい与え方、使い方が必要です。

「家では小学校の低学年のうちには日給にしていって、何につかったか毎日聞いていました。中学年になると週給にしてこづかい帳のようなものに書かせていました。今高学年ですので月給

制にしています。今はこづかい帳を書かせていませんが、子どもは自分でつけて、なんとかやっているようです。」

きちんとした考え方があってこづかいを与えているいいお話もありました。こづかいの与え方で注意しなければならぬこと。

「だちん的与え方をしない」

「行きあたりばったりの与え方をしない」

「多額のお金は与えない」

「よその家ではこうだからというような影響を受けないで、自分の考えをもって与える」など――

いい意見が出されました。親のほうにきちっとした考え方があって与えているれば子どもはそれにこたえる使い方をするはずですよ。

父母から学校への

語りかけを

話題としてとりあげたほ

かにも「あいさつ」「たん生会」「買い食い」「プール使用」「水泳特訓」「家庭での勉強」「手伝い」などたくさんありますが割愛しました。

地域での懇談会は、どちらかというと学校から父母という一方通行の語りかけを脱して、父母から学校への語りかけを、あるいは父母同士の語り合いを期待して行われるものだと思います。

そこで真意を語ってもらい、おたがいにそれを真剣に受けとめ、実行に移す。単なる語り合いだけに終わっては意味がありません。学校でも地域でもそこで語られ確認したことを、子どもに返すことが必要だと思っています。

地域の教育力はその地域で高めなければどうにもならないでしょう。懇談会も学校が主催するのではなくに地区が主催して学校の参加を要請する、という形になればなあと思いました。

△編集／教育広報委員会 V

ファミリーダンスの つどい

ダンスで親子のスキンシップを—と、去る九月十八日西小体育館で、西部若妻会主催のファミリーダンスのつどいが開かれました。土曜の夜とあって、親子連れで約一五〇人が参加。ルンバ、マンボ、ブルースなどのリズムに合わせて、思い思いにステップを踏んでいました。



町民のひろば

●ご意見・話題
をお寄せ下さい。—広報係—

東北・北海道地区造林コンクール 実った 育林にける情熱 *宇津野の阿部惣一郎さん



▲ 出品した杉林の前で

このほど開催された東北北海道地区民有林造林コンクールで、宇津野の阿部惣一郎さん(七十七歳)が、杉の部でみごと第三位第一席を獲得しました。

コンクールへの参加条件は十年生で一カ所三〇㎡と決まっております、秋田営林局などで実地審査にいくというもの。

阿部さんは「雪害を少なくする仕立て方を目標にこ

れまで育ててきました。それ以来雪害でできたものはほとんどありません」と、この十年間の経過を語っています。秋田営林局長も、受賞式の席上「阿部さんの雪に強い育樹法は、特に注目すべきだ。今後に期待するところが大きい」と評価しています。

また阿部さんは、今後の育林の振興のために、①品種の選択②周到な地ごしらえ③八尺間隔ぐらいに植える④四、五年までは二回下刈⑤十年までは春秋二回の雪起こし⑥枝打ちを二回でやる(ふつう一回)などをあげています。

タイムカプセルの 集い

タイムカプセル三周年親子ソフトボール大会が、去る九月十九日午後、大谷小学校で開かれました。

五十五年三月二十三日、大谷小卒業生三十四名が、同校創立百周年を記念して、三〇年後に開くことの約束で、二〇〇歳のポリタンクの中に、教科書・文集・アルバム・習字・その他学校や町関係の資料と、朝日町ワインなど、百種類を超える物を入れて、敷地内に埋めたものです。

おじゃましま〜す

No.7

知らせたいこと、言いたいことあつたらデンプウ
下さい。うかがいます。 ☎8-2424 7-3436

なつかしい先生と生徒、親たちが、久しぶりの再会を喜び合い、ソフトボールをやったり、夕方からは一同によるいも煮会が行われました。山沢先生からは「高校受験はさけて通れない厳しい道程だから、悔いのないよう勉強を積んで受験に望むように」とのメッセージがあり、全員がこれに元気にこたえていました。

また、今回の集いは、五年または十年をめどに、カプセルを思い集いを持とうと誓い合いました。

最後に、志藤良男記念事業実行委員長、生徒代表の大谷

一夫君が固い握手を交し、なごやかに散会しました。

二十七年後の皆さんは、いったいどんな生活をしているでしょうか。そして、朝日町は、どんな町に変身しているだろう。本当に興味深いものがあります。

(鈴木紀広報委員)

好天に恵まれた校庭で、



昨年、朝日分校を卒業後
家業の「りんご作り」をし
ている。卒業してすぐ、福

はばたけ 若人

「毎日、りんご山へ行っ
て手伝っています」と語る
彼女は、今年八月に東京の



銀行を辞めて、帰郷。

「両親への親孝行の意味も
あって」と、家事やりん
ごの仕事に専念している。

「ちょっと手の込んだ料
理は、一度にたくさん作っ
て冷凍しておくんです。そ
うすると忙しい時でも待た
ずに、食卓に出せます。そ
ういった下ごしらえは、昼
の休憩時間や夕食後にする

料理と歌が好き

沼向 菅 井 清 美さん

どこにも負けないリンゴを

古楨 渡 辺 達 美さん

島の農家で一年間実習をし
てきた彼は、「りんご作り
の基本を学んだほかに、人
との付き合いたいせつさ
を肌で感じとても勉強にな
りました」と語る。

さらに「将来はやっぱり
どこにも負けない「うま
いりんご作り」が目標です
ね」と意欲を燃やす。

高校時代は、野球部のエ

ースとして活躍。現在も古
楨ファイターズ（FF）チ
ームに入りその力を大いに
発揮している。
趣味はスポーツやドライ
ブ。さすがに愛車はピカピ
カに磨かれている。「今度
ぜひ車で旅行したい」とも。
「スター」の出荷や青年
団などフルパワーの毎日。
（両親と三人暮らし）

（高橋久子広報委員）

木彫「早春」が県展で入選

●大谷五の白田正蔵さん

このほど行われた県総合
美術展覧会（県展）で、大
谷五の白田正蔵さん（六十
六歳）がみごと入選の栄誉
に輝きました。

入選作品は、工芸の部に
出品した木彫で、題して「
早春」（写真）。水ばしょ
うのまわりに唐松林を描い
たもので、早春の息吹きが
生き生きと表現されていま
す。

作品はタテ100センチヨコ70
センチで材料はほおの木。製作
期間は約三カ月をかけてい
ます。

白田さんが木彫を始めた

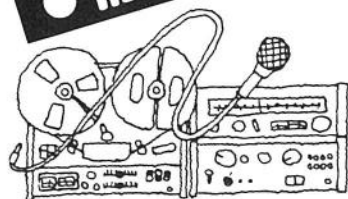


▲ 入選作品「早春」(上)と白田さん(右)▶



のは五年前で、郵便局を退
職後、余暇を生かし何か後
世に残したい——と手がけ
たのが木彫と原色押花。
白田さんは「県展への出品
は三度目。今回の入選を足
がかりとして、いっそうこ
の道に精進していきたい」
と喜びをかみしめています。

●情報室



*紅葉観賞パーティーのご案内

—— 一般のかた大歓迎 ——

- とき／10月23日(土) 正午～3時
- ところ／高齢者センター広場
- メニュー／①ヤマメでんがく(2匹)にワンカップ付500円 ②ハヤのカラ上げ(2匹)にワンカップ付500円 ③芋煮(食べ放題)にジュース付500円 ④ワイン・ビールは実費
- カラオケクラブ、民謡会の皆さんの催しがあります。
- 当日、温泉入浴は無料です。

*新刊書あんない(町立図書館)

▷テレビ症候群(ケイト・ムーデー)▷向田邦子全対談集(向田邦子)▷女の人差し指(〃)▷ボキボキ折れる子どもの骨(杉浦保夫)▷みちのく山河行(真壁仁)▷慶州ナザレ園(上坂冬子)▷わらじ医者京日記(早川一光)▷緑の生活(オークヴィレッジ)▷帰らない日へ(伊藤マリコ)▷「雨の木」を聴く女たち(大江健三郎)▷逆境を乗り越えた男が出世する(菅原真)▷君はムダな汗を流していないか(鶴巻敏夫)▷裏声で歌へ君が代(丸谷才一)▷炎熱商人(深田祐介)

*求人あんない

- 東北コーオン ☎7-3371
- 35歳までの女子5名募集。くわしくは当社まで。

*税のまど

●青色申告で正しい記帳を

商売などをしている人は自分の所得を正確に計算するために、毎日の取引をきちんと記帳しておくことが必要です。

このため、きちんと帳簿をつけ正確な所得や税額を計算して申告する青色申告者は、所得の計算上いろいろ有利な取扱いが受けられることになっています。

あなたも青色申告で正しい記帳を



今井 倭子 ふるさとに歌う

☆朝日中でリサイタル

朝日町前田沢出身のソプラノ歌手今井倭子さんの、ふる里では初めてのリサイタルが、十月七日朝日中学校体育館で開かれました。

この日は、町内の小学生、中学生、高校生全員と一般のかたもおおぜい詰めかけ会場は満員となりました。今井さんは、「理想」「セレナータ」などのイタリヤ歌曲や親しみやすい「この道」「浜辺の歌」などの日本の歌を熱唱。会場から惜しめない拍手が送られていました。

今井さんは、宮宿小に三年まで在学。四年から山大附属小に転校、附属中を経て県立西高校を卒業しました。その後、桐朋学園大声楽科卒後、藤原歌劇団入団。昭和四十四年イタリヤへ渡り、以来ヨーロッパ各地で活躍中です。

交通死亡事故

ゼロ365日達成!

九月二十一日付で、朝日町は一年間交通死亡事故ゼロを達成し、このほど県警本部長から町交通安全推進協議会長(小林町長)あて賛辞が贈られました。

内容は「この成果は町民各層が一体となって、交通安全意識を盛り上げ、諸施策を進めた努力の賜」といったもの。

国県道などの整備が進む



につれ、交通量が一段と増えてきます。私たち一人ひとりが、これまで以上に気持を引き締めて、死亡事故ゼロの記録をみんなで伸ばしていきたいものです。

深まる海の子山の子の友情

* 水本小・送橋小・三瀬小のなかよし学校

昨年十二月、なかよし学校の同盟を結んだ水本小、送橋小、鶴岡市三瀬小、三校の第二回交歓会が、十月六日、水本小で行われました。海と山の子どもたちが、お互いに知らない面について学習し、交流を深めよう——と始まったのがこの「なかよし学校」。

一回目の交歓会は、今年の七月、三瀬で行われました。水本と送橋の子どもたちと先生、父兄がおおぜい

今回は、三瀬小の五年生と先生、父兄合わせて三十九人が来町。開会式では、まず、送橋小の清野強志君が「七月に三瀬へ行った時はいろいろありがとう。心ゆくまで楽しんでいってください」と歓迎のことばを述べたあと、三瀬小を代表して三浦政輝君が、「朝日町のよいところをじっくり見て帰ります」とこたえました。

合唱、合奏、踊り、剣道などをお互いに発表したあと、県民の森へ移動してレクリエーションを楽しみました。午後は送橋のリング園を見学。木になったリングを初めて見る三瀬の子どもたちはとても満足気で、真っ赤に熱したスターキングを恐る恐るもぎとりほおばっていました。

▲各学校の出し物を交換し合う



(55)

紅葉赤く陽に映えて千草にすだく虫の音も、空かけ渡る雁の音も絶えて淋しくなりにつけり。香も高きりんどうの色はにおえど散りぬるを花の命は短かくて、尼僧の姿今いずこ、さ霧にかすむ妙見堂。

水口のトンネル入口より旧道を南に進むこと約二百、右手丘の上に名もななく美しくひっそりと妙見堂が建っている。おもむるにご本尊を拝するに身高二二

縁の木像であり、容姿端麗にして美事に彩色された女人像である。いつ、だれによって建立されたか文書は一切ないが九〇歳翁長岡峰松氏は語る。「若い頃聞いた話だが、水口村佐竹定右エ門の先祖が、遠く磐城国相馬の妙見様の分霊を勧進して建立したこと……」。

水口『妙見堂』

定右エ門は水口の旧家佐竹長右エ門の一族であり長らく別当をした。しかし、明治初期貫見(大江町)に転住し、その後、佐竹与惣治家が代々別当をした。与惣治家も戦前神戸市に移転したため、分家佐竹勝治が別当を引き継ぎ現在は三代目守氏が別当を継いでいる。若宮寺の記録によれば「水口村妙見寺妙見堂は真言宗

若宮寺の門徒寺也」と。これから推察すると、妙見堂の付近に妙見寺があったことが想定される。

さらに興味を引くのは、尼僧の位牌が安置され、「春光貞山比丘尼靈位」寛政十年歿」とある。寛政十年(一七九八年)は一八四年前である。貞山比丘尼はいかなる女性であったか等一切不明であるが、おそらく最後の尼僧であったと考えられ

る。妙見堂参道の右側草むらの中に十数基の墓石が散見されるが、古い墓石で、白心法師(年号なし)の石碑を始め、寛保三年、明和四年、宝暦十一年等があり、いずれも二一〇年から二四〇年位前のものであり水口観音堂再建(元文四年末秋の中、一七三九年)の時代には、立派に妙見寺も妙見堂も建立されていたと考察される。

妙見様は妙見菩薩又は北辰妙見、尊星王等と称し、北斗七星又は北極星を神格化し信仰の対象としたものである。民間信仰としては、火難、盗難、眼病平癒の守護仏とされている。例祭は旧三月二二日、近隣の信者によって盛大に行われる。(文/広報委員長岡幸助)



みごと優勝旗奪回

☆西村山地区駅伝競走大会



▲ 力走を続ける朝日Aチーム

西村山一円七八・六錢を走破する第二十九回駅伝競走大会が、去る九月十日、時折小雨の落ちる悪天候のなか行われました。

昨年、惜しくも涙をのんだ朝日町チームは前半から積極的なレースを展開。これまでの記録を四分以上も縮める大会新記録でみごと優勝し、前回の雪辱を果たしました。

返しましたが、持ち前のチームワークで力走。ねばる西川Aチームを振り切り、トップでゴールに飛び込みました。

朝日町チームは、「絶対に優勝を奪回するんだ」という意気込みで、春から合宿や強化練習を積み、今大会に備えてきました。その成果が実を結んだといえるでしょう。

なお、四区(大谷小)左沢、六・四錢)を走った加藤正選手(常盤)が、二十一分十秒で区間新記録をマークしました。

公民館結婚式すすめ二十四年

大谷甚六会 地域実践活動団体として表彰

去る九月十七日、長井市民文化会館で開かれた、第四回山形県生涯教育県民大会の席上、優良地域実践活動団体として、大谷甚六会(佐藤伸寛会長・会員数五人)が表彰されました。

今回の表彰について佐藤会長は「この荣誉を汚すことなく、地域生活に根ざした活動を次代に残していきたい」と話しています。

昭和三十四年、初代会長の桜井新一さんらが「生活改善の第一歩は結婚式の簡素化から」と、公民館結婚式を提唱。

「参加者全員でカップルの誕生を祝おう」「婚家負担を最少限にとどめよう」を合言葉に、公民館結婚式を始めて以来二十四年目を迎え、これまで甚六会で世話した結婚式は二三五組を数えます。



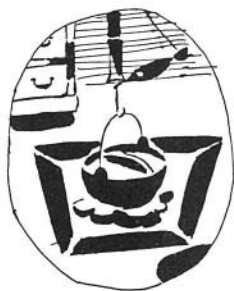
▶ 表彰を受ける佐藤会長

スポーツ少年団活動などにビデオやテント

コミュニティ助成事業

このたび宝くじの普及広報事業として行っているコミュニティ助成事業が、当町に交付されることが決まりました。朝日町には現在スポーツ少年団として剣道・スキーをはじめ、九団体が結成され、二四一名が仲間づくりや体力づくりを目指してがんばっています。

今回助成を受けたのは、これらスポーツ少年団活動のため技術指導などに使われるビデオ設備と子ども会活動などに使用するテント・寝袋など合せて二百万円の事業費で全額助成です。



求めても帰らぬものそれは時間。その一時をどう過ごすかによって一年も大きく変わってきます。

昨年十月「産声」をあげ

た連絡事務所も「一歳の誕生日」を迎えました。皆様のご指導を仰ぎながら、どうにか「つたえ歩き」を覚えて、という実感が心の中

朝日分校

ここに充実の足跡を刻め！

手づくりの曙光祭

去る九月十一日、十二日の二日間、朝日分校生徒会の一大行事、曙光祭が盛大に開催されました。

今年のテーマは「一路ばく進。ここに充実の足跡を刻め」。

初日は、まず弁論大会で開幕。十人の弁士が「ボラ

ンティアを考える」「時代の変化と人間の変化」「自然を守る」などのテーマで堂々と主張しました。

続いて映画「ダウン・タウン物語」を鑑賞。その後演劇など各クラスの出し物を発表しました。

仮装をして街頭PRをする予定でしたが、雨のため校内での仮装大会を楽しみました。

二日目は、フォークコンサートやキャンドルサービスなどで祭りも最高潮。この日は一般公開もされ、華道・美術を始め書道や手芸などが展示されましたが、とくに、保健部の「コーラをさぐる」地域歴史研究クラブの「神仏分離について」などの展示が一般町民の目をひいていました。

▶町民の関心がまだまだほしい



でうずいています。しかし、なんとか一人歩きができるのは、三歳か五歳ぐらいになると思います。どうかそれまで、私たちを見守ってください。

町の皆様の温かさに、決して甘えることのないよう、スタッフ一同ない頭を最大限に寄せながら頑張ってきたつもりですが、考えと行動がなかなか一致しませんでした。「あせるな」と言われれば言われるほど、なんとか形だけでもつくりたいというあせりが先に立ち、一人相撲になったきらいに反省しています。しかし、反面まだ表に出ない活動の一部として、

- 池田さん／千代田区町会の教育委員会との話し合い
- 井上さん／練馬区・北区の教育委員会との話し合い
- 堀さん／朝日会会員相互のコミュニケーション作り
- 若月さん／「ふるさと」の会員募集の努力
- 富樫さん／友達へのスキ場宣伝。等々。

それぞれに頑張っていた

1才の誕生日

東京連絡事務所だよりNo11

いています。

このような地味な活動の中から、朝日町との心のきずなを保っていけるという喜びを、スタッフ一人一人がしみじみ感じています。一歳の誕生日にあたり東京連絡事務所から町の皆様に一つお願いがあります。どうぞお聞きください。

『お願い』

一年を通じてふる里朝日町を、表面の一部かもしれませんが知る事ができて、

新たな認識の上に立ち頑張る覚悟でおります。しかし、町の皆様のご意見のないうことが、私たちスタッフにとつて実に寂しい気持ちです。「良い」とか、「悪い」とか「こうやれ」「それはやめろ」とか、町の皆様あつての連絡事務所と考えている私たちにとつて、やっている事すべてが、無意味なことではないかと時々「ジレンマ」に陥ることがあります。

三年後、五年後に一人歩きできるようになった時、「やっぱり連絡事務所をつくってよかったんだ」という結果をなんとか作りたい。決して「うぬぼれ」や「見栄」でない私たちスタッフの心です。

身勝手なお願ひとも思いますが、どうか町の皆様のどんなことでも結構ですので、ご一報下さい。スタッフ一同心からお待ちしております。

(大井尚武 記)



きまりを守り平和な町を
☆小林由美子さん(大沼)

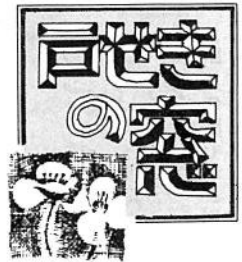


高校のころ合唱をやっていたリズム感バツグン。今、青年団活動と社交ダンスに熱中している。

「サークル活動は、まだまだ地域の人に理解されない面が多い。老人から子どもまで理解してくれる活動でなければと思います。」

「いつも笑顔でふるまい、約束は絶対に守る」ことをモットーにしている明るいお嬢さんです。(19歳)

(渡辺良明広報委員)



57年9月1日～9月30日届出

*出生

区名	出生者氏名	父名	続柄
大滝	柴田将太	茂夫	二男
立木	松田恭典	正佳	二男
常盤	長岡守	秀志	長男
前田	成原佳子	孝一	二女

*死亡

区名	死亡者氏名	年齢	世帯主
夏草	佐竹信一	84	恒雄
大町	布施慶一	78	寛
中沢	鈴木きくゑ	63	勝則
大谷	大谷又吉	74	武助
八ッ沼	佐竹しう	89	光廣

西船渡	鈴木隆洋	多悦	長男
太郎一	長岡克浩	茂	長男
大谷三	白田靖史	孝雄	長男
小原	菅井智佳	健男	長女
元町	佐藤和司	和夫	二男
大谷四	佐藤倫久	伸寛	長男
西町	岡崎辰徳	正行	二男
四ノ沢	鈴木冴子	光	長女



*婚姻

前田	保勝	栗木沢
熊谷	俊子	白田
大沼	東根市	四釜
白田	文男	明美
立木	松原	常盤
阿部	政彦	長岡久美子
本町	藤雄	佐竹朝子



社会福祉協議会 などへ現金贈る

次のかたがたから、恵まれたのかたのために、社会福祉協議会などへ現金が贈られました。



▽鈴木貞蔵さん(助ノ巻) 三万円

▽海野敬次さん(元町) 五万円

▽白鷹 朝日町民号チャリティ収入 一、一七、一七円

また、東京在住の鈴木齊さんから、「広報あさひ」の編集のために、広報委員会へ二万円が贈られました。

鍼灸マツサージ師会が
明鏡荘慰問

このほど、寒河江西村山地区鍼灸マツサージ師会(松田惣蔵会長)が明鏡荘を訪れ、お年寄りたちにマツサージなどの奉仕を行いました。

これは、老人福祉週間にちなみ毎年行っているもので、この日は十五名の会員が訪問。お年寄りたちにはとても好評で、「一年に一回だけでなくもっと来てほしい」と口々に感想を語っていました。



大谷老人クラブで 日の丸公園を整備

大谷老人クラブ連合会(白田常松会長)では、毎月一回、日の丸公園の整備作業をしています。作業は、草刈りや空き缶拾いなどが、八月の作業の時は、空き缶やビニール類などゴミ袋でなんと十五個も集まりました。